

2020年6月2日

当院で頭蓋内硬膜動静脈瘻に対して治療および血管造影検査が施行された

患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものです。研究のために、新たな検査などはいりません。この案内をお読みにになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】

2013年1月から2020年4月の期間に頭蓋内の硬膜動静脈瘻に対して血管造影検査および治療が行われた患者さん

【研究課題名】

Clinical significance and angiographic features of pial arterial supply to intracranial dural arteriovenous fistulas: a multicenter retrospective study

和訳：頭蓋内硬膜動静脈瘻における硬膜内脳動脈からの供血の血管構築とその臨床的重要性：多施設共同研究

【研究責任者】

国立循環器病研究センター 脳神経外科医長 佐藤 徹

【研究の目的】

硬膜動静脈瘻における硬膜内脳動脈からの供血とその血管構築、血管内治療の治療成績との関連を明らかにすることです。さらに、本研究によりある一定の血管構築のパターンと治療リスクに関連が発見されれば、個々の患者さんに応じてより安全な治療を施行することが可能となることが期待されます。

【利用する診療情報】

診断名、症状、年齢、性別、手術記録、臨床転帰

【外部機関への研究データの提供】

上記の診療情報を、次の研究機関に提供して、共同で研究を進めます。

主な共同研究機関及び研究責任者

・研究代表者

大分大学放射線部 清末 一路

・研究分担者

聖路加国際病院神経血管内治療科 新見 康成

筑波大学脳神経外科脳卒中予防・治療学講座 松丸祐司

岡山大学脳神経外科学講座 平松匡文

東海大学脳神経外科学講座 Kittipong Srivatanakul

藤田保健衛生大学脳卒中センター 中原一郎

富山大学脳神経外科学講座 秋岡 直樹

大分大学放射線科 井手 里美

昭和大学藤が丘病院脳神経外科学講座 津本智幸

虎の門病院神経血管内治療科 鶴田和太郎

小倉記念病院脳神経外科 波多野武人

広南病院血管内脳神経外科 佐藤健一

永富脳神経外科病院放射線科 堀 雄三

神戸中央市民病院脳神経外科 今村 博敏

トロント大学放射線科 Timo Krings

・研究事務局

京都大学脳神経外科学講座 石井 暁

京都大学脳神経外科学講座 大川 将和

【研究期間】 研究許可日より2023年4月30日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

研究計画書を変更する場合には、研究倫理審査委員会での審議を経て、研究総括管理責任者の許可を受けて実施されます。その際、文書を公開する場合は、国立循環器病研究センター 公式サイト (<http://www.ncvc.go.jp>) の「実施中の臨床研究」のページに掲載いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 脳神経外科 担当医師 橋村 直樹

電話 06-6170-1070(代表)